

平成24年度  
網走市における景気動向調査  
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

# 目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種D.I値の状況	10
4-3	業種別D.I値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他ご意見	15

# 第1章 調査要領

## 1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成24年9月27日（木）～平成24年10月22日（月）
- (2) 調査期間：平成24年7月～9月期実績、及び、平成24年10月～12月期見通し

## 1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（25件）、製造業（23件）、卸売業（21件）、小売業（33件）、サービス業（33件）の5業種135社を調査対象とした。

## 1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

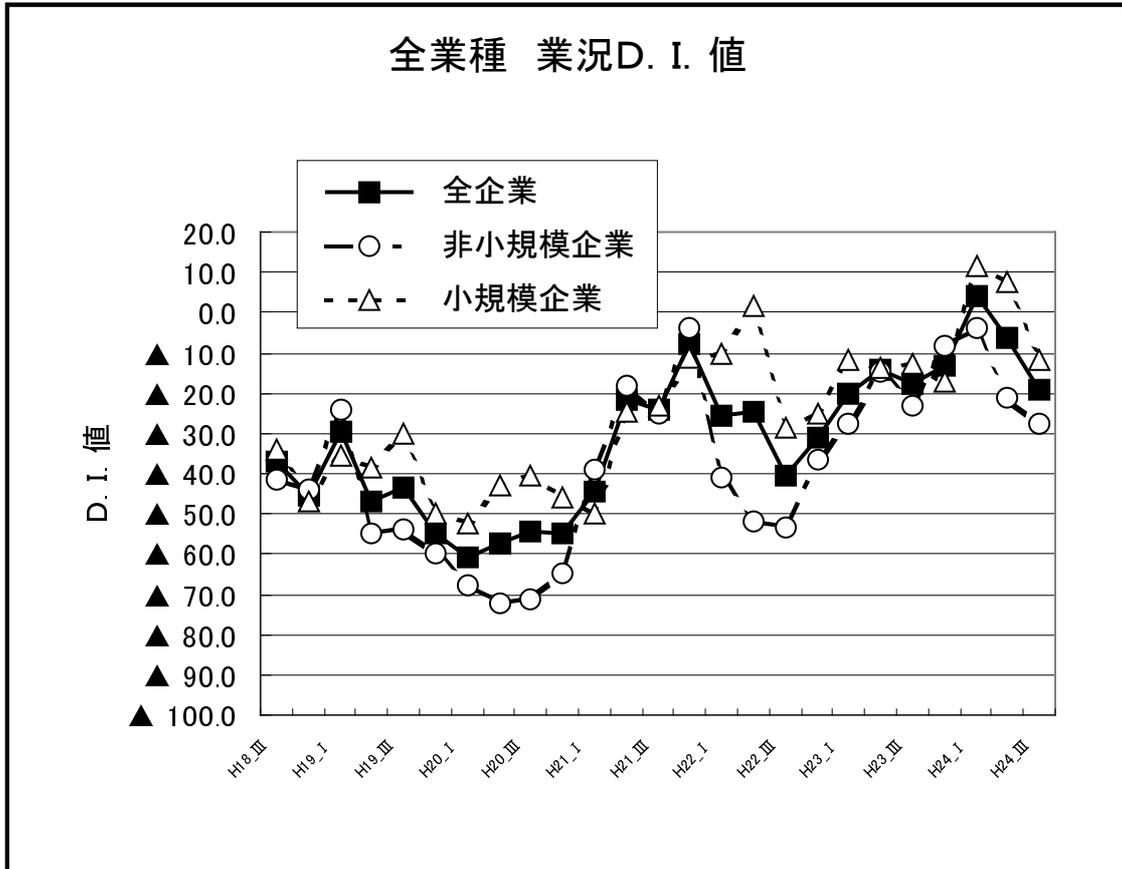
## 1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		25件	19件 (非小規模企業：10件) (小規模企業：9件)	76.0%
製造業		23件	14件 (非小規模企業：5件) (小規模企業：9件)	60.1%
卸売業		21件	16件 (非小規模企業：6件) (小規模企業：10件)	76.2%
小売業		33件	26件 (非小規模企業：11件) (小規模企業：15件)	78.8%
サービス業		33件	24件 (非小規模企業：15件) (小規模企業：9件)	72.7%
合計		135件	99件	73.3%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示す。

## 第2章 概況

### 2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成24年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」21.2%、「悪化企業」27.3%であり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲6.1と前期に比べ10.0ポイント悪化しました。小規模企業のD.I.値は7.6、非小規模企業は▲11.2と前期に比べてそれぞれ大きく悪化しました。

建設業がD.I.値21.1と大きく改善したほかは、製造業、卸売業、小売業はいずれも大きくD.I.値を下げました。特に小売業は消費の伸び悩みが影響し、D.I.値は▲34.6と悪化しました。また、サービス業はD.I.値12.5と引き続き好調を維持しているものの、第Ⅰ四半期と比較するとポイントを半減させており、次期への影響が懸念されます。

今期と比べた次期<10月～12月>の見通しは「好転企業」が11.1%、「悪化企業」が30.3%となり、D.I.値▲19.2、と厳しい見通しをたてています。

建設業が比較的明るい見通しを示した他は、厳しい予想をたてており、好調だったサービス業もD.I.値がマイナス値に転じるなど、全国的な景気縮小感の影響が当地方においても出始めたかと予想されます。

経営上の問題点としては「得意先の減少」「同業者間の競合」「売上(受注・生産)の不振」が前期に引き続き上位を占めています。

## 2-2. 業種別の動き

### (1) 建設業

#### ■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	55.6%	22.2%	33.4	↗
非小規模企業	30.0%	40.0%	▲10.0	↘
全 体	42.1%	31.6%	10.5	↗

#### ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
非小規模企業	10.0%	40.0%	▲30.0	↘
全 体	21.1%	26.3%	▲5.2	↘

#### ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
	非小規模企業	0.0%	10.0%	▲10.0	↘
	全 体	15.8%	10.5%	5.3	↗
完成工事高	小規模企業	44.4%	33.3%	11.1	↗
	非小規模企業	10.0%	30.0%	▲20.0	↘
	全 体	26.3%	31.6%	▲5.3	↘
資金繰り	小規模企業	11.1%	22.2%	▲11.1	↘
	非小規模企業	0.0%	10.0%	▲10.0	↘
	全 体	5.3%	15.8%	▲10.5	↘

### (2) 製造業

#### ■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	22.2%	33.3%	▲11.1	↘
非小規模企業	20.0%	80.0%	▲60.0	↘
全 体	21.4%	50.0%	▲28.6	↘

#### ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	22.2%	44.4%	▲22.2	↘
非小規模企業	40.0%	60.0%	▲20.0	↘
全 体	28.6%	50.0%	▲21.4	↘

#### ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	0.0%	55.6%	▲55.6	↘
	非小規模企業	40.0%	20.0%	20.0	↗
	全 体	14.3%	42.9%	▲28.6	↘
生 産 高	小規模企業	0.0%	66.7%	▲66.7	↘
	非小規模企業	40.0%	20.0%	20.0	↗
	全 体	14.3%	50.0%	▲35.7	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	22.2%	▲22.2	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	0.0%	14.3	▲14.3	↘

## (3) 卸売業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	50.0%	10.0%	40.0	↗
非小規模企業	0.0%	83.3%	▲83.3	↘
全 体	31.3%	37.5%	▲6.2	↘

## ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	20.0%	10.0%	10.0	↗
非小規模企業	0.0%	66.7%	▲66.7	↘
全 体	12.5%	31.3%	▲18.8	↘

## ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	0.0%	30.0%	▲30.0	↘
	非小規模企業	0.0%	66.7%	▲66.7	↘
	全 体	0.0%	43.8%	▲43.8	↘
売 上 高	小規模企業	10.0%	30.0%	▲20.0	↘
	非小規模企業	0.0%	66.7%	▲66.7	↘
	全 体	6.3%	43.8%	▲37.5	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	10.0%	▲10.0	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	0.0%	6.3%	▲6.3	↘

## (4) 小売業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	13.3%	60.0%	▲46.7	↘
非小規模企業	18.2%	36.4%	▲18.2	↘
全 体	15.4%	50.0%	▲34.6	↘

## ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	6.7%	53.3%	▲46.6	↘
非小規模企業	9.1%	36.4%	▲27.3	↘
全 体	7.7%	46.2%	▲38.5	↘

## ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	13.3%	13.3%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	45.5%	▲45.5	↘
	全 体	7.7%	26.9%	▲19.2	↘
売 上 高	小規模企業	20.0%	13.3%	6.7	↗
	非小規模企業	0.0%	45.5%	▲45.5	↘
	全 体	11.5%	26.9%	▲15.4	↘
資 金 繰 り	小規模企業	6.7%	6.7%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	27.3%	▲27.3	↘
	全 体	3.8%	15.4%	▲11.6	↘

## (5) サービス業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	44.4%	0.0%	44.4	↗
非小規模企業	46.7%	26.7%	20.0	↗
全 体	45.8%	16.7%	29.1	↗

## ■採 算

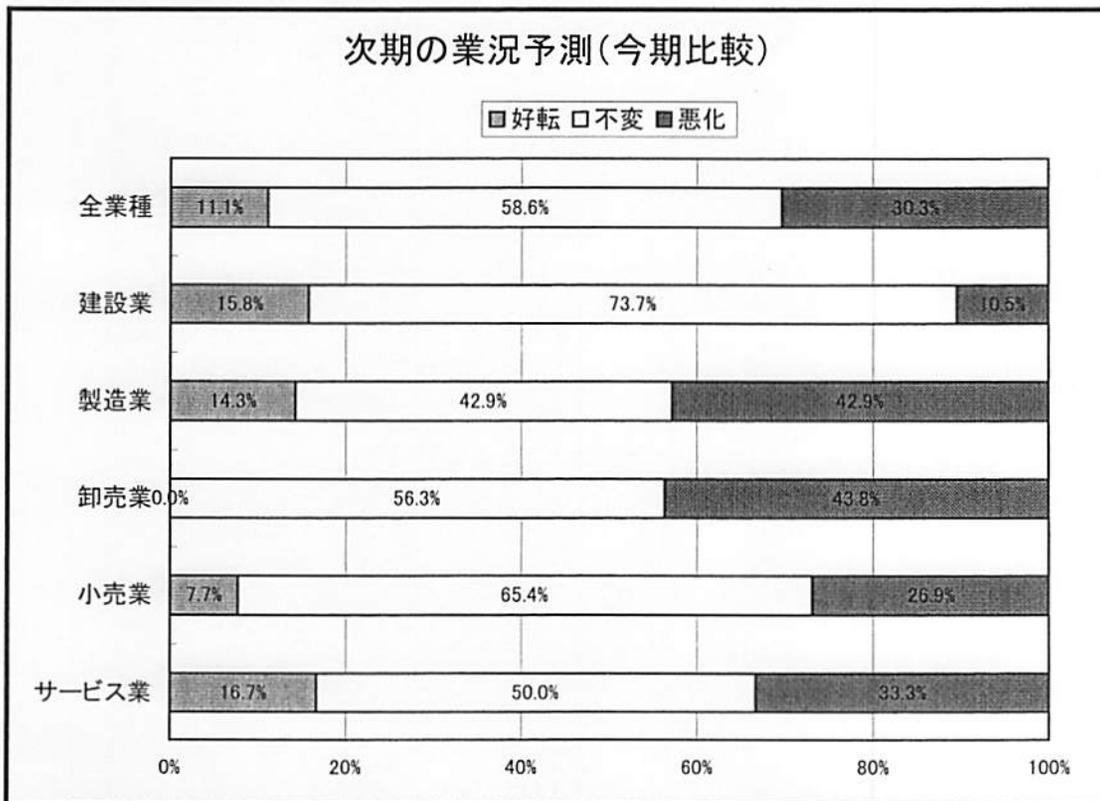
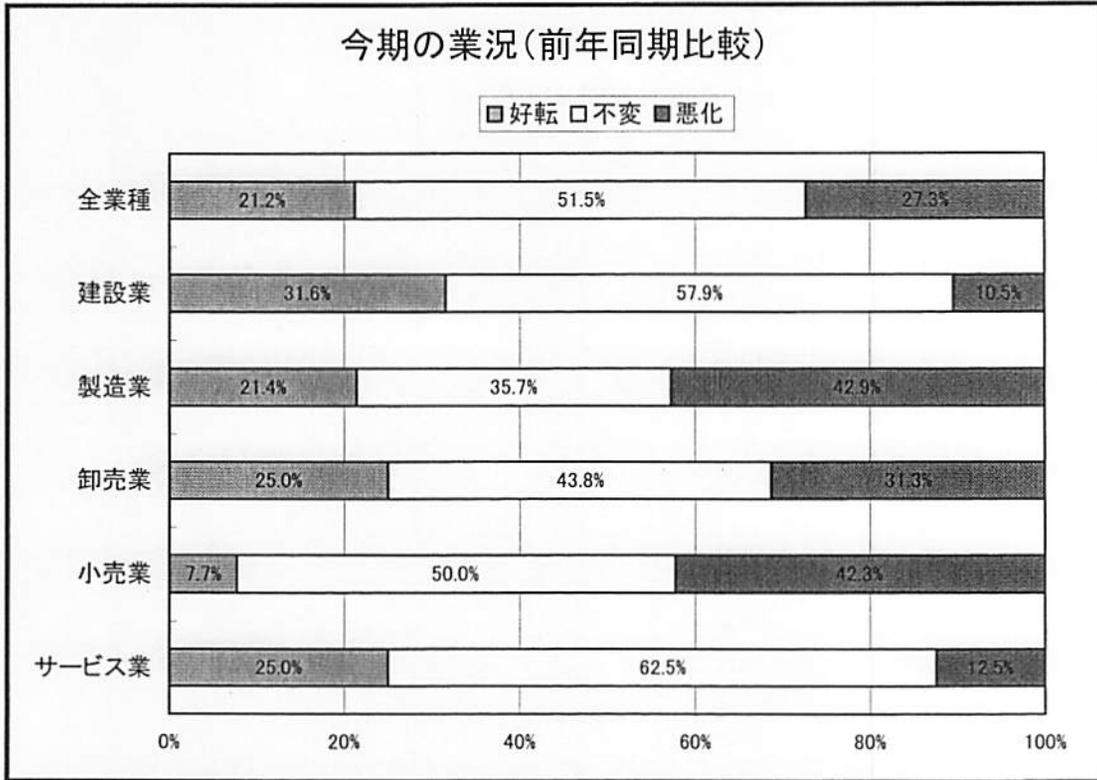
規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	22.2%	0.0%	22.2	↗
非小規模企業	26.7%	13.3%	13.4	↗
全 体	25.0%	8.3%	16.7	↗

## ■次期の見通し

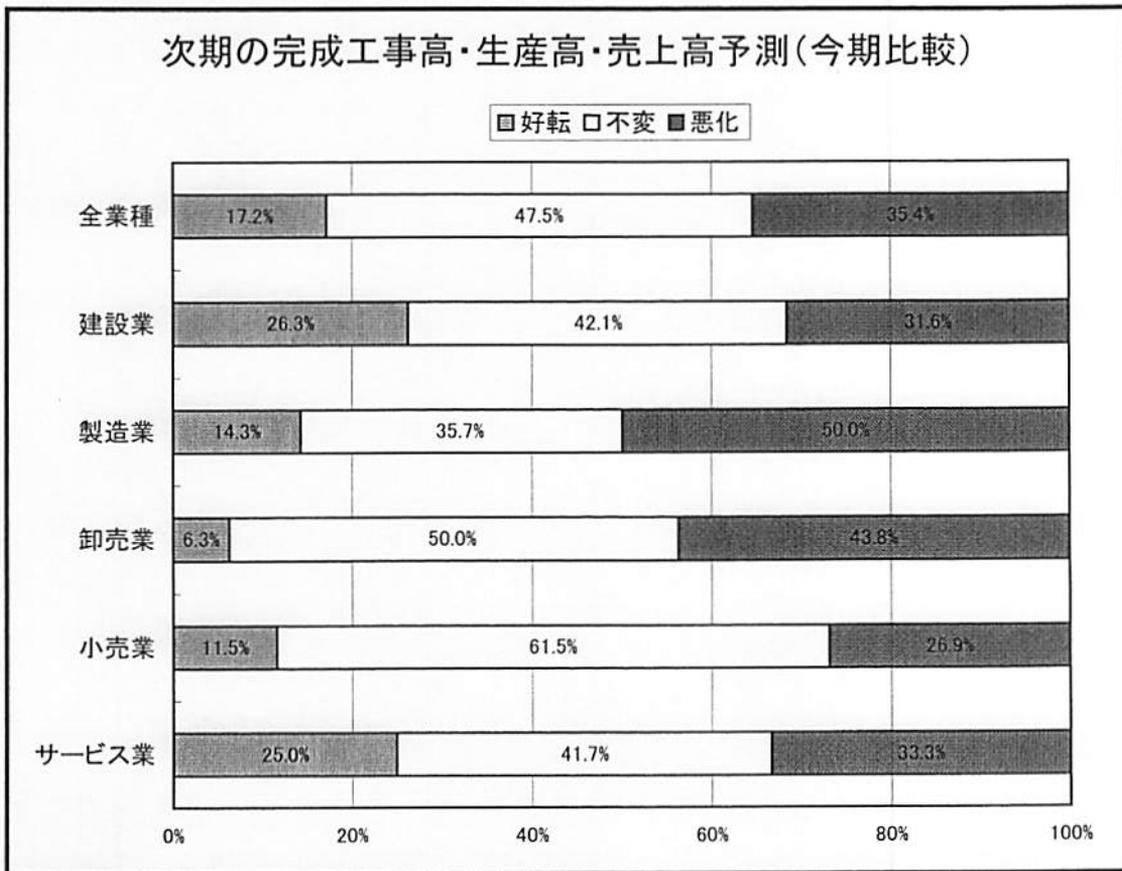
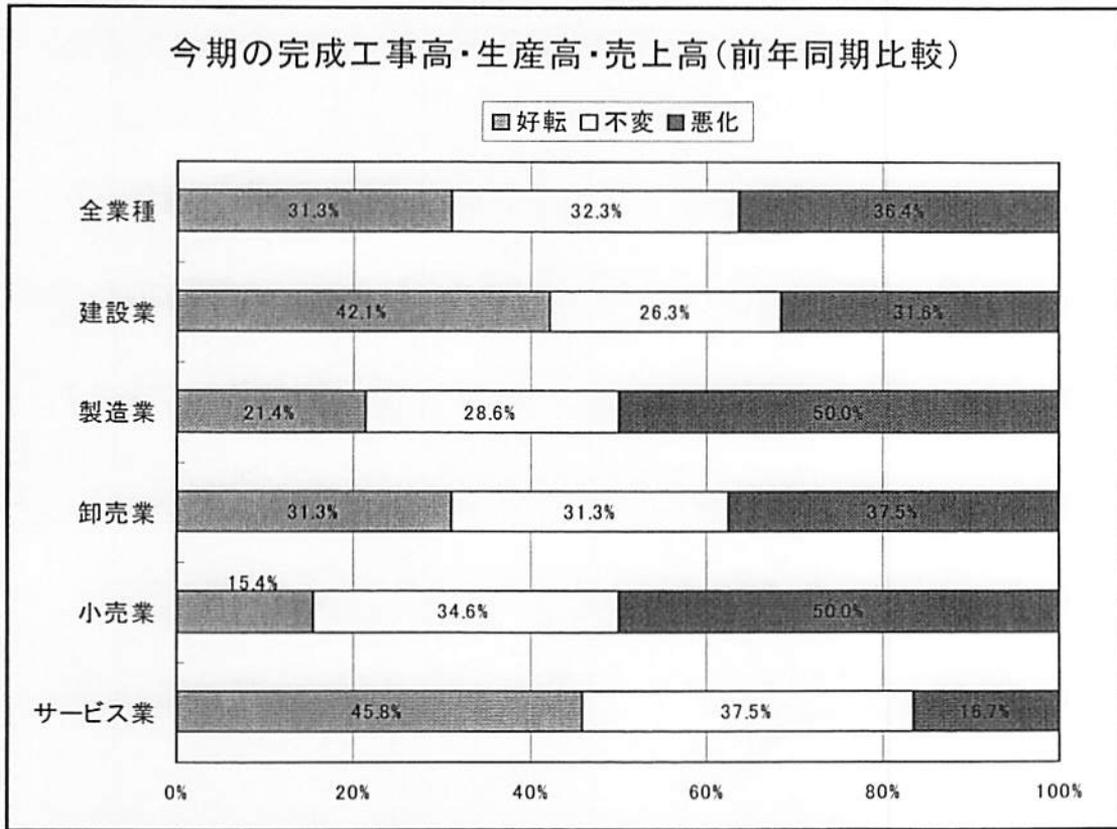
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
	非小規模企業	13.3%	40.0%	▲26.7	↘
	全 体	16.7%	33.3%	▲16.6	↘
売 上 高	小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
	非小規模企業	26.7%	40.0%	▲13.3	↘
	全 体	25.0%	33.3%	▲8.3	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	25.0%	▲25.0	↘
	非小規模企業	6.7%	40.0%	▲33.3	↘
	全 体	4.3%	34.8%	▲30.5	↘

### 第3章 各判断項目回答割合

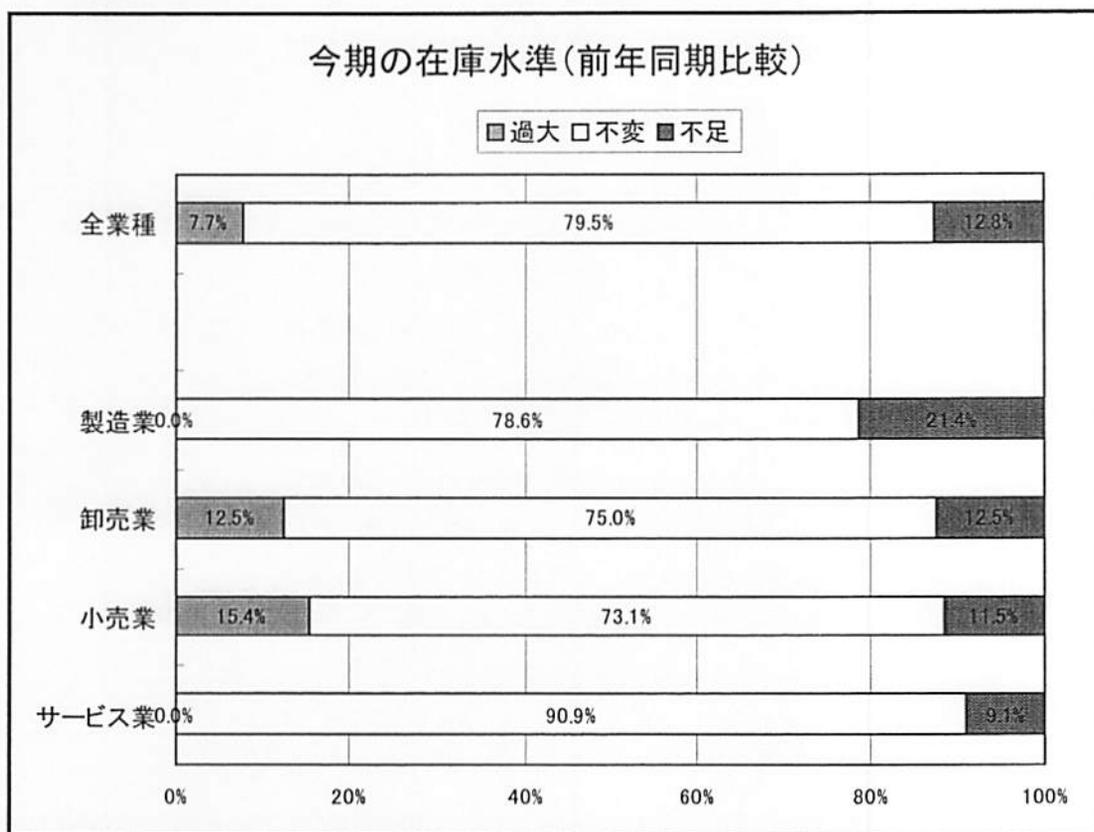
#### 3-1. 業況



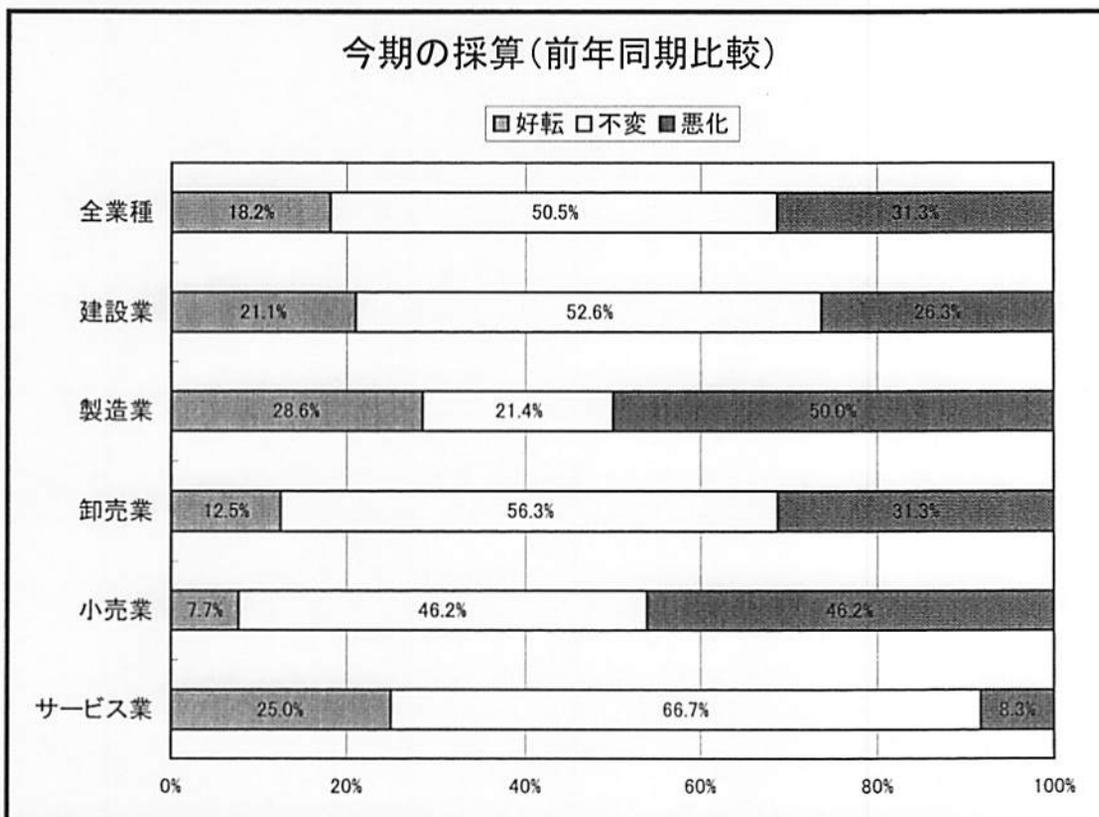
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



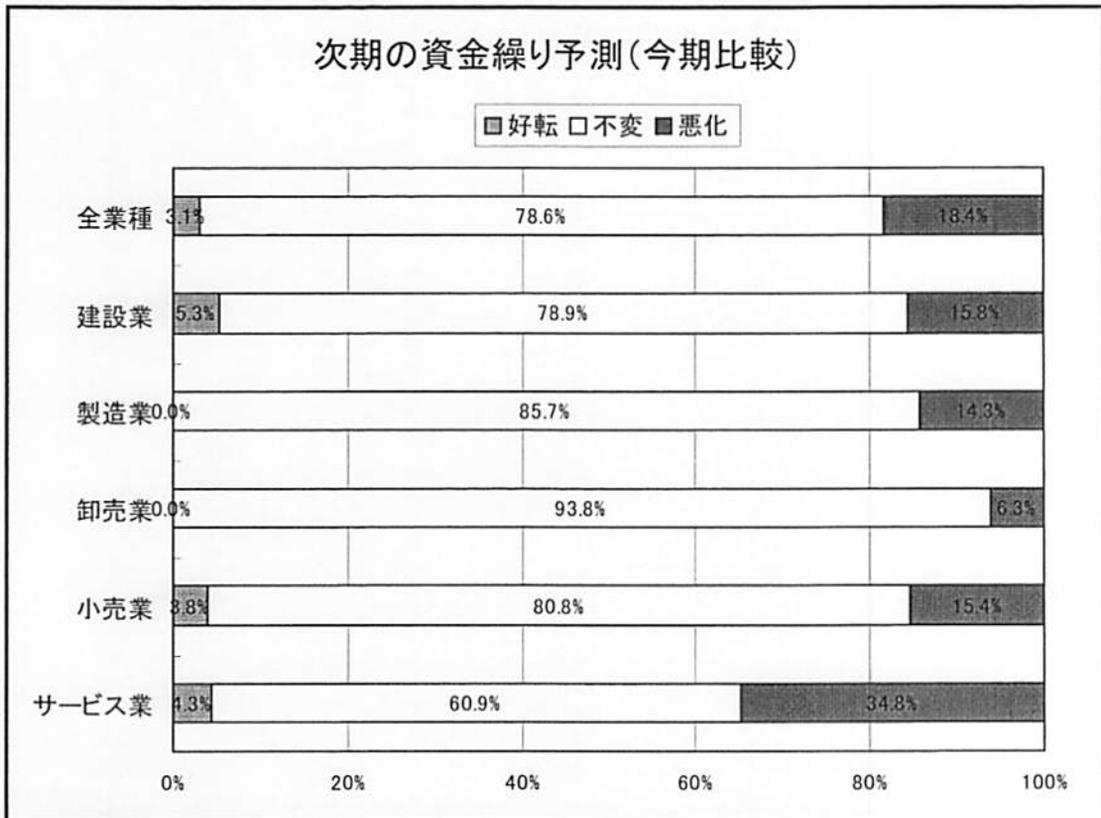
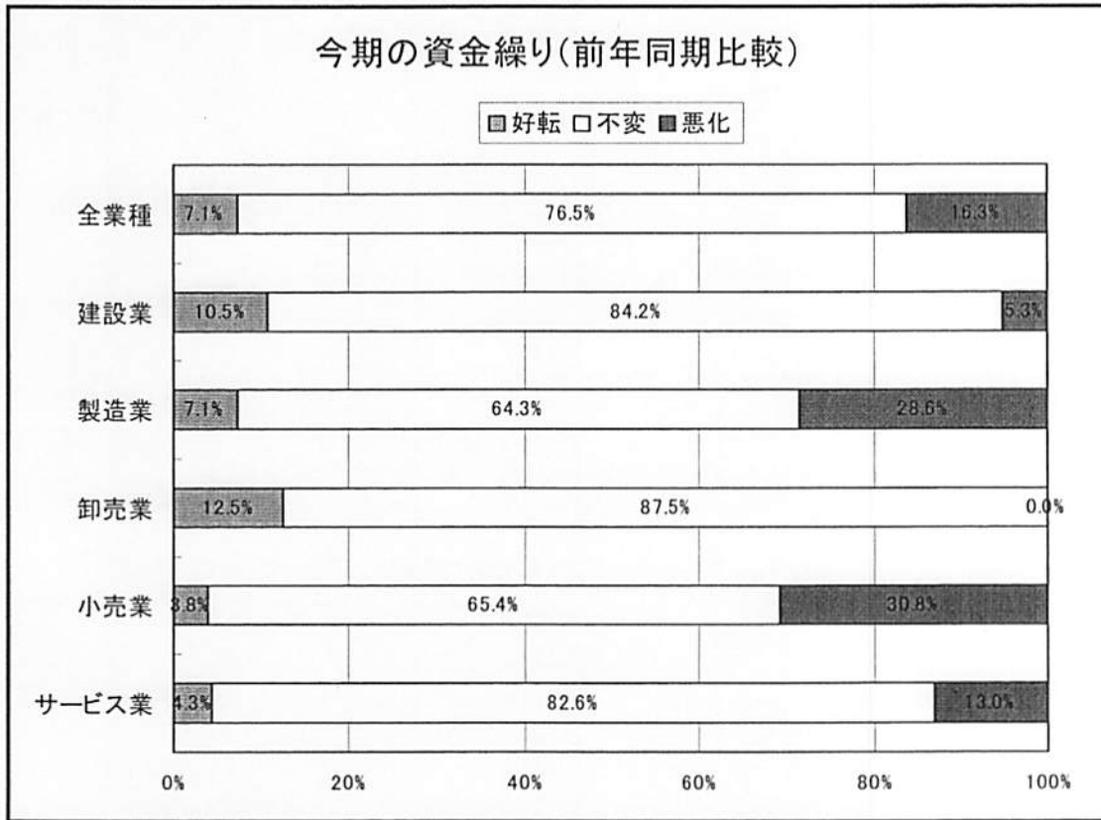
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

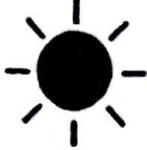


3-5. 資金



## 第 4 章 景況天気図

### 4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

### 4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲6.1	 ▲19.2
売 上	 ▲5.1	 ▲18.2
採 算	 ▲13.1	/
資金繰り	 ▲9.2	 ▲15.3

#### 4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 21.1	 5.3
	完成工事高	 10.5	 ▲5.3
	採算	 ▲5.2	
	資金繰	 5.2	 ▲10.5
製造業	業況	 ▲21.5	 ▲28.6
	生産高	 ▲28.6	 ▲35.7
	採算	 ▲21.4	
	資金繰	 ▲21.5	 ▲14.3
卸売業	業況	 ▲6.3	 ▲43.8
	売上高	 ▲6.2	 ▲37.5
	採算	 ▲18.8	
	資金繰	 12.5	 ▲6.3

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小 売 業	業 況	 ▲34.6	 ▲19.2
	売 上 高	 ▲34.6	 ▲15.4
	採 算	 ▲38.5	
	資 金 繰	 ▲27.0	 ▲11.6
サービス業	業 況	 12.5	 ▲16.6
	売 上 高	 29.1	 ▲8.3
	採 算	 16.7	
	資 金 繰	 ▲8.7	 ▲30.5

## 第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建 設 業	同業者間の競合	人 材 不 足 売 上 の 不 振		諸 経 費 増	得 意 先 減 少 資 金 調 達 困 難
製 造 業	売 上 の 不 振	得 意 先 減 少 同業者間の競合		諸 経 費 増	人 件 費 増 人 材 不 足
卸 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足 売 上 の 不 振		同業者間の競合
小 売 業	売 上 の 不 振	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増
サービ業	諸 経 費 増	同業者間の競合	得 意 先 の 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増 売 上 の 不 振		人 材 不 足

## 第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	4件(21.1)	3件(21.4)	3件(18.8)	5件(19.2)	6件(25.0)	21件(21.2)
しない	13件(68.4)	9件(64.3)	12件(75.0)	20件(76.9)	18件(75.0)	72件(72.7)
無回答	2件(10.5)	2件(14.3)	1件(6.3)	1件(3.8)	0件(0.0)	6件(6.1)
合計	19件	14件	16件	26件	24件	99件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	-	-	1件	-	1件	2件
店舗	-	-	-	2件	2件	4件
車輛	4件	1件	2件	-	5件	12件
付帯設備	1件	1件	1件	-	4件	7件
OA機器	1件	-	-	1件	-	2件
その他	-	2件	-	2件	-	4件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述は以下のとおり。

製造業：機械設備（1件）、生産設備（1件）

小売業：冷蔵モーター修理（1件）、顧客名簿（1件）

## 第7章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・以前にも書きましたが、現在自社でバス等を所有し、お客様の無料送迎を行っていますが、車が足りないときは他社から借りています。この借り先が廃業するなど、これからの季節を考えると大きな打撃となります。宴会の2／3は2次会で網走までという方多いことから、少なからず夜の街に貢献してきたのですが・・・(サービス業)
- ・景況の伸びが見られると(4～8月上昇)期待していましたが、9月に入って急降下。サンゴ草の壊滅のせい、欧州や中国のせい、困ったものです。(サービス業)
- ・店舗数が増加、店への来店数の割合が減少。(サービス業)
- ・今年は9月がいつもの年より忙しい日が続きました。10月も今のところ善戦しています。連休になると家族連れの入込が年々多くなり、喜んでいます。ただ、仕入れの金額がだんだんと値上がりしてきています。後は企業努力しかありません。(サービス業)
- ・同業者間の競合が激しく値下げせざるを得ず、利益が出ません。(サービス業)
- ・業界形態から好景気不景気にあまり左右されない業種でありましたが、昨年の北海道札幌～旭川と都市に大手小売店が相次いで進出してきました。やがて地方にも進出してくるものと思っています。路面店で永きに渡り商売をしてきましたが、来年くらいから少なくとも影響がでて来るものと思います。今後は多くの売上げは望めないのではないか？維持することも困難になると推察します。四条商店街(メインストリート)に魅力のある街、多くの人(客)が来る街づくりを考えなくてはやっていけなくなるだろう。緊急の問題です。(小売業)
- ・常に経費の節減を一番に考えておりますが、経済状況の変化が早くなかなかついて行けません。(小売業)
- ・大型店の進出等、同業者間の競合が一層厳しい状況にあります。これに併せデフレによる売上単価が年々低下しております。人口減、若者の車離れもあり『顧客の囲い込み及び人材育成と将来の展望を見据えた会社運営』が最も重要と考えます。(小売業)
- ・仕入単価の低下を実現するには、トラックの運送費が高いままだと現実化できません。ガソリン代金の一つのポイント。(卸売業)